

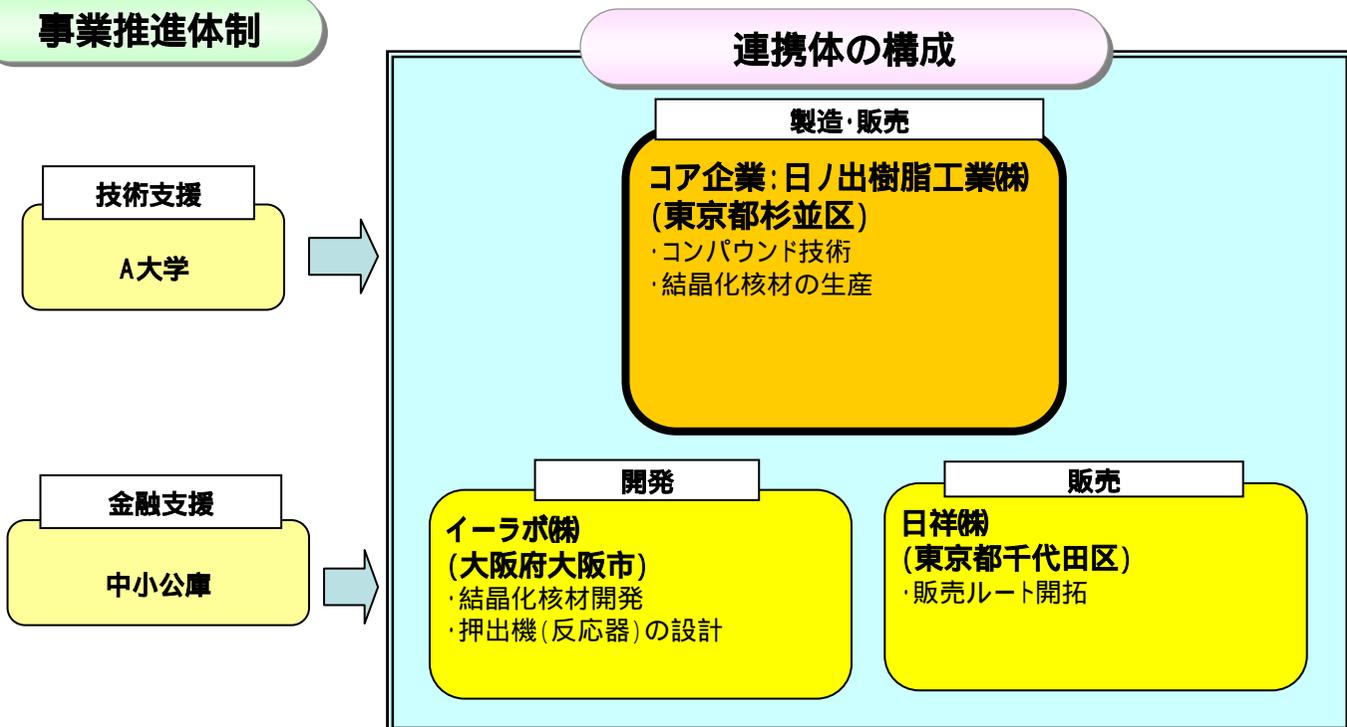
地域	東京都杉並区	認定日	平成19年1月31日	3 - 18 - 058
事業分類	製造(化学・石油製品)	テーマ分類	環境	

事業名: ポリ乳酸樹脂向け耐熱性機能向上材(結晶化核材)の製造・販売

事業概要(新規性、市場性等)

- ・CO2排出規制等の環境面から、トウモロコシ、サトウキビ等を原料とする植物性樹脂への関心が高まっているが、代表的な植物性樹脂であるポリ乳酸樹脂は耐熱性、加工性、価格に課題があった。
- ・ポリ乳酸樹脂の耐熱性は60 程度であったが、従来使われていない材料を使用した機能性核材を添加することにより結晶化速度が向上し、耐熱性を130 まで向上させることに成功した。
- ・加工性も従来は特殊工程が必要であったが、通常樹脂の成型工程で可能であり、また価格面も実用レベル水準で販売する。
- ・家電メーカー、梱包資材メーカー等をターゲットに事業化を目指す。

事業推進体制

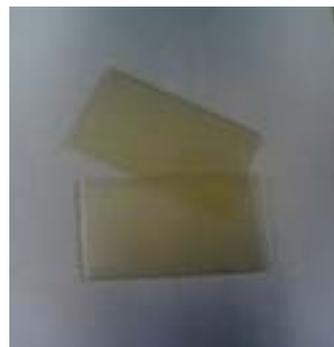


支援予定メニュー

補助金
低利融資
(中小公庫)



機能向上材



ポリ乳酸樹脂

連携のきっかけ、特徴

- ・従来の植物性樹脂は、カーボンニュートラル(注)であり環境面での負担が少ないが、耐熱性が低く夏季の自動車内など条件下では品質を保持できない、価格が通常樹脂の3～5倍程度と高い、通常樹脂の成型工程では加工できないなどの課題があった。
- ・代表的な植物性樹脂であるポリ乳酸は結晶化速度が遅く耐熱性は60 程度であったが、業界では従来使用されていない材料を特殊な技術でコンパウンドすることにより結晶化速度を上げることにより成功した。
- ・日本国内では既に携帯電話、パソコンなどの筐体、梱包用資材、食品トレーなどに2万トンのポリ乳酸が流通しており、本事業では、まず家電メーカー、梱包用資材メーカーをターゲットとし事業化を目指す。

(注)カーボンニュートラル: バイオマスを燃焼すると化石燃料と同様にCO₂を排出するが、植物はもとも成長過程で光合成によりCO₂を吸収しており、トータルでは大気中のCO₂を増加させないという考え方。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	日ノ出樹脂工業株式会社・代表取締役社長 住田嘉久	
所在地	東京都杉並区今川2丁目22番10号	
創業	昭和22年8月	
資本金・従業員数	1600万円	21名
業種	製造業	
T E L	03 - 3394 - 3771	
F A X	03 - 3394 - 3791	
ホームページ		
e - m a i l		

PR等その他の情報

・
・
・
・